

平成24年12月議会定例会は、12月7日から14日の日程で開かれました。一般質問は11日と12日の2日間行われ、9人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は14日に行われ、提出された6議案は全て原案どおり可決されました。

# 平成24年(第10回) 12月議会定例会



## 今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略しています)

### 平成24年度 一般会計補正予算

既定予算総額に2億326万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を76億662万円としました。歳出の主な内容は、総務費：車両購入費3453万円、財政調整基金元金1億8万9千円、ウェブカメラシステム整備業務3744万7千円、民生費：災害弔慰金(村単独分)4800万円、衛生費：健診データ管理システム保守業務139万7千円、妊婦健診業務13万5千円、農林水産費：森林災害保険料206万6千円、商工費：企業立地支援事業補助金△9349万円、土木費：除雪作業業務2500万円、教育費：いいたてっ子未来基金元金5725万9千円、小学校費・備品購入費833万8千円、自動車借上料800万円などです。これらを賄う財源として、地方交付税・国庫支出金・県支出金・寄付金・繰越金等を充当するものです。

### 平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算

191万2千円を増額し、歳入歳出予算の総額を14億5410万3千円としました。歳出の主な内訳は、出産育児一時金等の増加によるものです。

### 平成24年度 介護保険特別会計補正予算

555万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額を8億2724万5千円とするものです。歳出の主な内訳は、要介護認定者が増えたことによる給付負担金の増加によるものです。

### 平成24年度 後期高齢者医療特別会計補正予算

393万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2759万8千円とするものです。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が確定して減額されたものです。

### 東日本大震災における飯館村単独弔慰金支給条例の制定について

平成23年3月11日の東日本大震災により被災または避難し、震災以降に死亡した村民の遺族に村単独の弔慰金を支給するものです。なお、この弔慰金はすでに行っている「災害弔慰金の支給に関する条例」の規定による災害弔慰金の支給を受けていない者で、支給額は死亡者一人当たり30万円です。

### 飯館須置地区除染工事請負契約の変更について

平成24年10月30日付けで請負契約をした、大成建設株式会社東北支店との変更契約です。その主な内容は、農地除染の手法が反転耕から表土削り取りに変更、大型土のう袋の仕様変更、さらには仮置き場の造成設置工事の追加、居根伐工、放射線防護及び対策等を追加し、工事の内容を変更するものです。請負額を3682万3500円増額し、契約金額を15億9397万3500円とする請負変更契約です。

## 村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略しています)

### 村表彰式

9月28日に飯野出張所において挙行しました。今年の表彰者は、功労表彰2人、善行表彰1人と一団体の表彰を行いました。いずれも村政振興に多大のご貢献をいただき、受賞された方々に對し、村民を代表し心から感謝と御礼を申し上げます。

### 福島市との協定

11月6日に福島市と「いいたてまでいな復興計画に基づく帰村のための取り組みへの支援に関する協定」を締結しました。村が村外の子育て拠点整備として計画する復興公営住宅や学校給食センターの整備、村民の就業支援等について、福島市と連携をしながら進めるためのものです。

### 敬老会

9月16日に村の敬老会を飯野小学校体育館で実施しました。



▲敬老会を楽しむ参加者

当日は、約320人のお年寄りが出席し、村からの敬老祝い金を始め、金婚夫婦への表彰状と記念品などが贈られたほか、引き続き行われた懇親会では、草野・飯樋幼稚園児の歌やダンス、3つの団体から演芸などが披露され、お年寄りには久しぶりの再会を喜び、楽しいひとときを過ごされたようです。

### 百歳賀寿

9月25日・27日に百歳賀寿がありました。松田マチノさんと高野久次郎さんがめでたく百歳を迎えられました。県知事からのお祝いや村からの記念樹及びお祝いをお渡しし、ご家族とともに百歳をお祝いしました。

### 健康リスクコミュニケーション

11月2日に、サンライフ南相馬で開催された南相馬市飯館自治会の設立総会に引き続き、健康リスクコミュニケーションを実施しました。11月28日には、松川第一仮設住宅で「放射線と村民の生活」をテーマにリスクコミュニケーションをテーマに実施しました。放射線の勉強会については、12月に子育てサロンと仮設住宅で計6回のリスクコミュニケーションを予定しています。その後も、仮設住宅や方部別の集まりなどでも実施していく予定です。

### 県民健康管理調査

9月以降、福島県県民健康管理室及び県立医科大学と健診データの提供について協議を進めています。